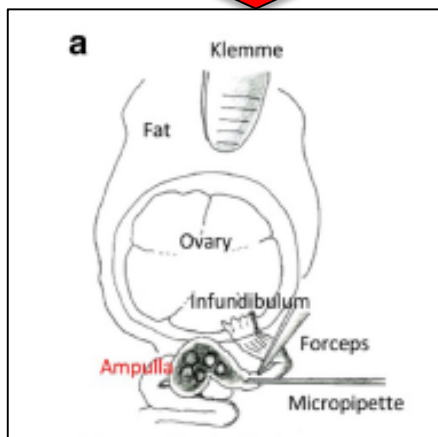


受託マウス作成支援 (学内限定)

先導生命科学研究支援センターでは令和元年9月より新たな遺伝子組換えマウス作製支援を行います。iGONAD法(経卵管ゲノム編集)及び発生工学手法を細分化し、より安価な遺伝子改変マウスの作製支援です。
マウス検疫費不要、sSPF飼育費不要で、依頼者の飼育室での遺伝子改変マウス作製の支援を行います。

iGONAD法

依頼者の飼育室のマウス(マウス系を問いません)
を自然交配 朝、膣栓(plug)を確認



以下施設職員が実施

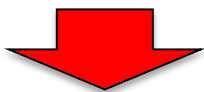
午後から麻酔下で卵管膨大部を露出

卵管膨大部から CRISPR/CAS9 試薬注入

エレクトロポレーション実施

閉腹し傷をクリップで縫合

費用：1週間で4腹分注入で2万円から



依頼者の飼育室で妊娠の継続

出産したらいつでも遺伝子型の解析

その他にも依頼者の飼育室のマウスを使用して、依頼者の飼育室内で遺伝子改変マウスの作製支援(1系統 約9万円)いたします。

お問い合わせ

長崎大学

先導生命科学研究支援センター

遺伝子実験施設

TEL:095-819-7190

FAX:095-819-7178

E-mail:grc@ml.nagasaki-u.ac.jp